

## 第4学年 社会科学習指導案

### 1 小単元名 「受け継がれる祭り ～武蔵府中・くらやみ祭～」(10時間)

#### 2 小単元の目標

東京都で受け継がれている文化財や年中行事について、歴史的背景や現在に至る経過、保存や継承のための取組などに着目して、資料等で調べ、学びのあしあとにまとめることで、東京都の文化財や年中行事の様子を捉え、人々の願いや努力を考え、表現することを通して、東京都の文化財や年中行事は地域の人々が受け継いできたことや地域の発展など人々の様々な願いが込められていることを理解できるようにし、学習問題を主体的に追究・解決しようとする態度とともに、学んだことを基に自分たちにできることを考えるなど、地域の伝統や文化の継承に関わろうとする態度を養う。

#### 3 小単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>①歴史的背景や現在に至るまでの経過、保存や継承のための取組について、資料等で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、東京都の文化財や年中行事の様子を理解している。</p> <p>②調べて分かったことを学びのあしあとにまとめることで、東京都の文化財や年中行事は、地域の人々が受け継いできたことや、それらには地域の発展など人々の様々な願いが込められていることを理解している。</p>	<p>①歴史的背景や現在に至るまでの経過、保存や継承のための取組などに着目して、問いを見出し、東京都の文化財や年中行事の様子について考え、表現している。</p> <p>②文化財や年中行事を保存したり受け継いだりしている人々の工夫や努力と、地域の人々の願いを関連付け、文化財や年中行事を受け継ぎ保存していることの意味を考えたり、自分たちにできることを選択・判断したりして、適切に表現している。</p>	<p>①くらやみ祭について、予想し学習計画を立てたり、学習問題を振り返ったりして、学習問題を追及し、解決しようとしている。</p> <p>②よりよい社会を考え、学習したことを基に、文化財や年中行事を継承していくために東京都民の一人として自分たちにできることを考えようとしている。</p>

#### 4 単元について

##### (1) 学習指導要領上の位置付け

本単元は、学習指導要領に第4学年の内容(4)に基づいて設定する。

<p>(4) 県内の伝統や文化、先人の働きについて、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア (ア) 県内の文化財や年中行事は、地域の人々が受け継いできたことや、それらには地域の発展など人々の様々な願いが込められていることを理解すること。</p> <p>ア (ウ) 見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、年表などにまとめること。</p> <p>イ (ア) 歴史的背景や現在に至る経過、保存や継承のための取組などに着目して、県内の文化財や年中行事の様子を捉え、人々の願いや努力を考え、表現すること。</p>
--

##### (2) 教材について

本単元でくらやみ祭を取り上げるよさは3つあると考える。

1つ目は、長い歴史を持っていることである。くらやみ祭は、1000年以上前に「六所宮」という神社で行われていた、五穀豊穰と国土安穏を祈る「国府祭」が始まりとされている。

2つ目は、人々が苦難を乗り越え受け継いできた祭りであることである。江戸時代には、「六所宮」が幕府からの援助や保護を受けることができ、町も祭りも発展していくことができた。しかし、明治時代になると、援助が受けられなくなってしまう。そこで、町の人と神社が協力して、祭りを盛り立てることによって乗り越えることができた。1960年には、祭りでけんかや危険なことが起こったことから、神輿が中止になる。だが、祭りを盛り立てようとする人々の願いや思いによって、神輿の時間を変更することで安全を確保し、その翌年の1961年に、再開することができた。また、ここ数年は、コロナウィルスの影響で神事の実施になっているが確実に受け継いでいる。

3つ目は、地域の発展を願う人々の思いや願いが捉えやすいことである。近年では、地域の子どもや青年などを含めた、約1万人もの人が祭りに関わっている。人々のつながりや協力、思いや願いが見えやすいのである。

このようなことから、学習指導要領の事項を子どもが捉えやすいと考え、本教材を選んだ。

## 5 単元構想

### 【本小単元につながる児童の学習経験】

地域の祭りに参加したことがあると答えた児童の割合は、9割とほとんどの子どもたちが祭りに参加をしたことがあった。しかし、神輿をかついだり、お囃子を演奏したり、祭りを手伝ったことがあると答えた児童の割合は、2割と少ない。また、昨年や今年は、コロナウィルス感染症の影響で祭り自体に参加できていない現状である。年中行事へ参加する人が少なくなっているこのような中で、参画することの大切さなどに気付いていけるよう単元をデザインした。

【研究内容1】 主体的に問いを追究する工夫		子供の主体的な問題解決の側面から			
		過程	想定される「問い」	子供に働かせたい 見方・考え方	
<b>【問題意識を高める工夫】</b> ・『資料➡(発問)➡児童の問い』の流れで、授業をデザインすることで、問いの連続性を意識して学習問題をつくりあげる。 ・祭が続いてきた長さをテープ図で比較し、くらやみ祭が1000年以上も続いてきたことに疑問をもてるようにする。 ・お囃子の体験を通して伝えていくことの大変さを感じ取り、どのように祭を継承してきたのか問題意識を高めるようにする。 <b>【見通しをもつ工夫】</b> ・学習問題と1単位時間の学習内容が記載された学習計画表(ホワイトボード)を掲示し、児童が単元のどこを学習しているのか、次回どんな学習をするのかなど、学びの見通しがもてるようにした。 <b>【内容や方法を選択できる工夫】</b> ・複数の学習内容を調べる時は、児童が調べたい学習内容から調べられるように資料を用意した。 <b>【学びを振り返る工夫】</b> ・「学びのあしあと」に調べ分かったことを毎時間記入し、学習を振り返る時間を設定する。 <b>【協働的に取り組む工夫】</b> ・ロイロノートを活用し互いの意見を確認し合うことで、考えを広めたり深めたりすることができるようにする。	つかむ	<学習問題をつかむ問い> ・東京都には、どのような文化財や年中行事があるのだろう。 ・くらやみ祭とは、どのような祭りなのだろう。 ・くらやみ祭がはじまったころは、どのようなことをしていたのだろう。	←	位置や空間的な広がり に着目して 地域の人々の願いに着目して 歴史的背景に着目して	→
	学習問題	くらやみ祭は、どのように1000年以上続			
	しらべる	<しらべる問い> 2回の大変な時期を、どのように乗り越えてきたのだろう。	←	現在に至る過程に着目して	→
		<しらべる問い> 町内、青年会、講中などの人たちは、どのようにくらやみ祭を続けているのだろう。	←	保存や継承の取組に着目して	→
		<しらべる問い> お囃子保存会の人たちは、どのようにくらやみ祭を続けているのだろう。	←	保存や継承の取組に着目して	→
	まとめる	<特色や意味を考える問い> 1000年以上も続いてきた、くらやみ祭は、どのように受けつがれてきたのだろう。	←	保存や継承している人々の工夫や努力と地域の人々の願いを関連付けて考えて	→
つながる	<社会に見られる課題をつかむ問い> 文化財や年中行事を受け継いでいくために、自分たちはどのようなことができるのだろう。	←	保存や継承している人々の工夫や努力と地域の人々の願いを関連付けて考えて	→	
<b>【研究内容3】 子供の学びを確かにする評価の工夫</b>	指導と評価の一体化を図る(教師が指導に生かす)評価				
	小単元の指導計画上に、指導に生かす評価を☆、記録に残す評価を★とそれぞれ分けて記述をした。指導に生かす評価では、その授業内で規準に到達できていない児童に対する手立てを具体的に記した。記録に残す評価では、評価を行う場面の焦点化を図った。				

### 【本小単元で目指す子供像】

くらやみ祭は、さまざまな人たちの努力や工夫、熱い思いやたくさんの願いがあって受けつがれていることが分かった。

この単元の学習をするまでは、長い間受けつがれてきたものをあまりくわしく見てこなかった。まずは、烏山神社の祭りに参加してみようと思う。そして、大人になったら、私にできることを受けついでいきたいと思った。また、年中行事だけではなく、身近にある文化財についても、もっと調べてみたいと思った。

### 社会生活の確かな理解の側面から

見方・考え方を働かせ る資料	子供が獲得できるようにしたい知識
<ul style="list-style-type: none"> <li>文化財や年中行事に関する東京都（地図）</li> <li>くらやみ祭の動画やスケジュール表</li> <li>くらやみ祭の歴史の長さを表したテーブル</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>東京都には、薬王院仁王門やくらやみ祭などたくさんの文化財や年中行事がある。</li> <li>くらやみ祭は、80万人以上が参加する祭りで、万灯大会、おはやし、こまくらべなど、7日間行われる。</li> <li>くらやみ祭は、平安時代に豊作や国の発展を願う祭りとして始まり1000年以上続いている。</li> </ul>

### けられてきたのだろう。

<ul style="list-style-type: none"> <li>祭の変化1（図）</li> <li>祭の変化2（図）</li> </ul>	<p>くらやみ祭は、豊作や国が豊になるように祈る神社の祭りから、市民が協力して行う祭りへと変わった。また、けんかのみこしが中止になったが、時間をずらしたり、大祭委員会を作ったりして、今も祭りを続けている。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>町内（図）</li> <li>青年会（図）</li> <li>講中（図）</li> </ul>	<p>青年会は、子どもみこしや子ども万灯大会の実施をしたり、講中は、府中以外の地域の人たちで祭りを準備したりするなど、青年会、町内、講中で分担して仕事を行っている。また、みんなで協力して、これからも続けていきたいという思いで、くらやみ祭を続けている。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>お囃子を教える人（図）</li> <li>お囃子を教わる人（図）</li> </ul>	<p>おやはし保存会の人たちは、昔から続けている祭りを残したい、みんなで守っていききたい、技を受けついでいきたいなどの願いをもって、大変なお囃子の稽古を続けて祭りで演奏したり、教わった技を子供たちに教えたりしている。</p>
<p>くらやみ祭は、時代に合わせて祭りのかたちをよりよいものにしてきた。楽しい祭りにするために、町内、青年会、講中、大祭委員会とたくさんの地域の人たちが協力してくらやみ祭を支えてきた。祭りの成功や伝統が続くことを願いながら、その思いを子供たちに伝えてきた。だから、1000年以上くらやみ祭は、受けつがれている。</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>ボロ市（図）</li> </ul>	<p>自分たちの身近なお祭りも、くらやみ祭りのように様々な人が関わり、工夫や努力をくり返しながらかつてつがれている。東京都のお祭りも文化財も同じように、大切に守られている。大切に守られているお祭りがあることを誇りに思うし、自分も守る一人になりたい。</p>

### 【研究内容2】

#### 社会的事象の見方・考え方が働く学習活動の工夫

##### 【位置や空間的な広がりから見る】

- 東京都にある年中行事や文化財に注目するために、主な祭りや文化財の様子がわかる写真を載せた資料を作成し活用する。
- くらやみ祭が行われる府中市は国府が置かれた場所であることを知るために、地図帳で位置を確認する。

##### 【事象や人々の相互関係から見る】

- くらやみ祭りを支える人々の協力関係に着目させるために、互いの役割をYチャートで構造的に整理させる。

##### 【時期や時間の経過から見る】

- くらやみ祭りが1000年以上続いていることを実感させるために、テーブル図を用いる。
- くらやみ祭りが1000年以上続く中で乗り越えてきた事柄があることを捉えるために、情報を整理した年表や関係者の話を資料として活用する。

##### 【比較・分類・関連・総合して考える】

- 時代に合わせて祭りの形を変えて続けてきた経過や祭りを支えるたくさんの人々の協力、成功や伝統の継承を願う人々を関連付けてどのように継承されてきたのか考えるために、「学びのあしあと」に毎時間の調べ分かったことを記入し、学習問題に対する自分の考えを書く際の思考ツールとして活用する。
- 地域の一員として年中行事の継承のためにできることを考えるために、「つながる」場面でくらやみ祭りの取り組みと地域の祭りの取り組みを関連付けて学習する時間を設定する。

#### 子供が学びを振り返り、次の学びにいかす

「学習問題」「学習問題に対する予想」「学習問題に対する自分の考え」「1単位時間の学習内容」「1単位時間の問いに対する自分の考え」「学び方」を1枚のワークシート（学びのあしあと）にまとめさせることで、どんなことが分かったか、学習問題に対してまだ解決できていないことは何か、学び方の改善点を児童自ら学びを振り返られるようにした。

6 小単元の指導計画 (全 10 時間)

過程	ねらい (数字は時数)	主な学習活動 (○) 問い (◆) 予想される児童の反応 (・)	◎資料 □教師の手だて 【評価】と➡それに対する支援
オリエンテーション	東京都の代表的な文化財・年中行事について調べる。①	<p>◆東京都の文化財や年中行事には、どのようなものがあるのだろう。</p> <p>○「文化財や年中行事に関する東京都の地図」で、文化財や年中行事の位置や何年続いているのかを調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高幡不動尊には、初詣に行った。</li> <li>・三社祭りって聞いたことがある。</li> <li>・だるま市に、毎年正月にだるまを買いに行く。</li> <li>・世田谷区だけではなく、東京都全体に文化財や年中行事がある。</li> <li>・都内には、たくさんの文化財や年中行事がある。</li> <li>・くらやみ祭が一番歴史がある。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>東京都には、薬王院仁王門やくらやみ祭などたくさんの文化財や年中行事がある。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史が古いくらやみ祭とはどんな祭りなのだろう。</li> </ul>	<p>◎文化財や年中行事に関する東京都の地図 □文化財や年中行事が行われている地域ごとに色 (文化財→赤 年中行事→青) を塗らせ、位置や空間的な広がりに着目させ、文化財や年中行事は東京都の様々な場所にあることを全体で確認する。</p> <p>☆【知・技①】ワークシートの記述から、「地図資料の読み取りを通して、都内の様々な場所に、文化財や年中行事があることを理解しているか。」を評価する。</p> <p>➡『位置関係を読み取れない児童』には、色が塗られているところに着目させる。</p>
つかむ	資料を調べることを通して、東京都の年中行事であるくらやみ祭の様子を理解する。②	<p>◆くらやみ祭りとは、どのような祭りなのだろう。</p> <p>○「くらやみ祭 (動画)」「くらやみ祭のスケジュール表」「くらやみ祭の参加人数 (グラフ)」から、くらやみ祭がどのような祭りなのかを調べ、くらやみ祭を概観する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・品川まで水をくみにいっている。</li> <li>・万灯大会では花がついた傘のようなものを回している。</li> <li>・山車の上で、おはやしをやっている。</li> <li>・大きな太鼓をたたいている。</li> <li>・7日間行われる。</li> <li>・おみこしおたくさんの人が担いでいる。</li> <li>・こまくらべでは、馬が走っている。</li> <li>・参加者は約 80 万人を超える。</li> <li>・私が知っている地域の祭りとは、ずいぶん違う。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>くらやみ祭は、80 万人以上が参加する祭りで、万灯大会、おはやし、こまくらべなど、7日間行われる。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・くらやみ祭がはじまったころは、どんなことをしていたのかな。</li> </ul>	<p>◎くらやみ祭 (動画) ◎くらやみ祭のスケジュール表 ◎くらやみ祭の参加人数 (グラフ) □一斉指導で、実際の祭りの様子をつかむことで、くらやみ祭りに関する基礎的知識を学級全体で共有する</p> <p>☆【知・技①】ノートの記述から、「映像資料やスケジュール表を調べ、くらやみ祭は、7日間行われ、その中で様々な催し物があり、多くの人が参加していることを理解しているか。」を評価する。</p> <p>➡『資料の読み取り方が分からない児童』には、祭の期間や催し物、参加人数に注目するよう声掛けを行う。</p>
	くらやみ祭について、問いを見だし、学習問題を考える。③	<p>◆くらやみ祭は、どのように始まったのだろう。</p> <p>○1000 年という時間の長さを、テープ図を基に捉える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1000 年以上前というのは、すごく昔だ。</li> </ul> <p>○くらやみ祭の起りや成り立ちや、現在に至るまでの簡単な歴史を、簡易年表を基に調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・六所宮という今の大国たま神社の祭りが始まりだ。</li> <li>・国の発展と豊作を祈る祭りであった。</li> <li>・2回も祭りが続けられなくなるようなピンチがあった。</li> </ul> <p>○お囃子を演奏した体験から、学習問題を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お囃子の演奏をするのはとても難しかったけど、どうやって教えているのかな。</li> </ul>	<p>◎くらやみ祭の歴史の長さを表したテープ図 □くらやみ祭が受けつがれてきた時間の長さに着目させる。</p> <p>◎くらやみ祭の年表 □旧国名と位置を確認することで、空間的なつながりを捉えさせる。</p> <p>□昔は神社が主催の祭りで、今のようない市民が中心となって運営していた祭りでは無かったことを押さえる。</p> <p>□音楽科で、事前にお囃子の学習を行い、演奏の難しさを体験しておく。</p>

	<p>・あんなにすごい祭りを1000年以上ずっと続けているのはすごい。</p>	<p>□1000年という時間の長さ、長い歴史の中にはピンチもあったという事実、お囃子を演奏する難しさかの3つを基に、疑問を出させる。</p>
	<p>学習問題：くらやみ祭りは、どのように1000年以上続けられてきたのだろう。</p>	<p>☆【思判表①】ノートの記述などから、「くらやみ祭が、1000年以上前から受け継がれていることやその難しさに着目して問いを見出しているか。」を評価する。</p> <p>➡『問いを見出せない児童』には、主語を「くらやみ祭は」と設定し、疑問の対象がお囃子や、大変な時期の乗り越え方のみ限定されないようにする。</p>
<p>学習問題に対する予想を基に、学習計画を立てる。④</p>	<p>◆学習をどのように計画したらよいだらう。</p> <p>○学習問題の予想から、学習計画を考える。</p> <p>・2回も祭りができなくなりそうになったのに、ずっと続けているということは、何か工夫をしたのではないか。</p> <p>→祭りの歴史 <b>第5時</b></p> <p>・お祭りを開催する人達が何かしているのではないか。</p> <p>→祭りを支えている人 <b>第6時</b></p> <p>・お囃子保存会の人など、祭りを受けついでいる人たちが、何か取組をしているのではないか。</p> <p>→伝統を受けつぐ人 <b>第7時</b></p>	<p>◎くらやみ祭の年表</p> <p>◎くらやみ祭に関わる人々の写真</p> <p>☆【態度①】ノートの記述などから、「くらやみ祭を受けついでいくために、だれがどのような願いをもち、努力しているのか予想し、学習計画を立て、見通しをもっているか。」を評価する。</p> <p>➡『どのような視点で予想を立てるのか分からない児童』には、写真資料からどのような立場の人がいるのか、着目させる。また、写真の様子から何をしているのか予想を立てさせる。</p>
<p>くらやみ祭が、大変な時期をどのように乗り越えてきたのかを調べる。⑤</p>	<p>◆2回の大変な時期を、どのように乗り越えてきたのだろう。</p> <p>○「祭の変化1 (図)」「祭の変化2 (図)」から、くらやみ祭の存続が危ぶまれた2回の出来事をどのようにして乗り越えてきたのかを調べる。</p> <p>・神社だけで、祭りを行っていたものを、地域の人たちの力を借りるようにした。</p> <p>・けんかのせいで中止になったときは、開催の時間を変更したり、大祭委員会を作ったりして、祭りの方法を変えた。</p> <p>○調べたことから、大変な時期の乗り越え方に共通することは何かを考える。</p> <p>・開催方法を変えて工夫した。</p> <p>・時代に合わせた祭りに内容を変えたこと。</p>	<p>◎祭の変化1 (図)</p> <p>◎祭の変化2 (図)</p> <p>□ベン図を用いて調べた内容を板書する。</p> <p>☆【知技①】ノートや学びのあしあとの記述から、「文書資料を調べ、くらやみ祭が大変な時期をどのように乗り越えてきたのかを理解しているか。」を評価する。</p> <p>➡『共通点を見出せない児童』には、お祭りのやり方は変えなかったか、うまくいかないところをどうしたか等、「困難を乗り越えるために変化させてきたこと」について着目できるように助言する。</p> <p>➡『祭りを変化させてきたことと祭りが続いたことに因果関係があることがとらえきれていない児童』には、「変化と続いてきたことは関係があるのか。」と視点を与えて考えさせる。</p>

	<p>町内、青年会、講中の人たちは、どのようにくらやみ祭を続けているのかを調べる。⑥</p>	<p>◆町内、青年会、講中などの人たちは、どのようにくらやみ祭を続けているのだろう。</p> <p>○「町内 (図)」「青年会 (図)」「講中 (図)」から、祭りを支えている人たちを調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・青年会は、子どもみこしや子ども万灯の実施をしている。</li> <li>・町内は、地域の人たちで祭りの準備を進める。</li> <li>・講中は、府中以外の地域の人たちが祭りの準備を進める。</li> </ul> <p>○調べたことから、祭りを支える人たちに共通する思いや願いはどのようなものかを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・祭りを成功させたいという強い思い。</li> <li>・これからも続けていきたいという気持ち。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>青年会は、子どもみこしや子ども万灯大会の実施をしたり、講中は、府中以外の地域の人たちで祭りを準備したりするなど、青年会、町内、講中で分担して仕事を行っている。また、みんなで協力して、これからも続けていきたいという思いで、くらやみ祭を続けている。</p> </div>	<p>◎町内 (図) ◎青年会 (図) ◎講中 (図)</p> <p>□調べる内容を分担させることによって、様々な立場の工夫に迫らせる。</p> <p>□Yチャート図を用いて、調べた内容を板書する。</p> <p>☆【知技①】ノートや学びのあしあとの記述から、「文書資料を調べ、町内、青年会、講中の人たちは、どのようにくらやみ祭を続けているのかを理解しているか。」を評価する。</p>
調べる	<p>伝統を受けついでいる人たちは、どのようにくらやみ祭を続けているのかを調べる。⑦</p>	<p>◆お囃子保存会の人たちは、どのようにくらやみ祭を続けているのだろう。</p> <p>○「おはやしを教える人 (図)」「◎おはやしを教わる人 (図)」から、お囃子保存会の方の活動を調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎週練習をしている。</li> <li>・練習をしてくれる方は、自分が教わったことを次の世代に口で伝えている。</li> <li>・小さいころから練習をしている。</li> </ul> <p>○調べたことから、お囃子保存会の人たちは、どのような思いや願いをもっているのかを考える。考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・祭りに参加する人を楽しんでもらいたい。</li> <li>・伝統を守り続けたい。</li> <li>・祭りを成功させたい。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>おはし保存会の人たちは、昔から続けている祭りを残したい、みんなで守っていききたい、技を受けついでいきたいなどの願いをもって、大変なお囃子の稽古を続けて祭りで演奏したり、教わった技を子供たちに教えたりしている。</p> </div>	<p>◎おはやしを教える人 (図) ◎おはやしを教わる人 (図)</p> <p>□なぜ、自分の仕事だけでも大変なのに、仕事の後の時間や休日の時間を使って子供たちに教えているのかと問い、思考にゆさぶりをかける。</p> <p>☆【知技①】ノートや学びのあしあとの記述から、「文書資料を調べ、伝統を受けついでいる人たちは、どのようにくらやみ祭を続けているのかを理解しているか。」を評価する。</p>

まとめる	<p>学習問題に対する自分の考えをまとめる。 ⑧</p>	<p>◆1000年以上も続いてきた、くらやみ祭は、どのように受けつがれてきたのだろう。 ○学びのあしあとを活用し、学習問題に対する自分の考えをまとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>くらやみ祭は、時代に合わせて祭のかたちをよりよいものにしてきた。楽しい祭りにするために、町内、青年会、講中、大祭委員会とたくさんの地域の人たちが協力してくらやみ祭を支えてきた。 祭りの成功や伝統が続くことを願いながら、その思いを子供たちに伝えてきた。だから、1000年以上くらやみ祭は、受けつがれている。</p> </div>	<p>□学びのあしあとを活用させる。 ★【思判表②】ノートの記述から「くらやみ祭を受け継いでいる人々の工夫や努力と地域の人々の願いを関連付け、くらやみ祭を受け継ぎ、保存していることの意味を考えることができるか。」を評価する。 ★【知技②】学びのあしあとの記述から「調べて分かったことや文章にまとめて、くらやみ祭は、地域の人々の様々な願いが込められていることを理解しているか。」を評価する。 ➡『まどめが書けない児童』には、 ・学びのあしあとから学習問題に対する自分の考えを書くためのキーワードを出させる。 ・学習問題の主語と述語を確認させる。</p>
つながる	<p>地域の伝統や文化を保護したり継承したりするために自分たちが協力できることを考えたり、選択・判断したりする。⑨⑩</p>	<p>◆文化財や年中行事を大切にするために、自分たちにどのようなことができるだろうか。 ○自分たちの住んでいる近くのお祭りや文化財について話し合う。 ・よく近所の〇〇祭りに行くよ。 ・ボロ市というお祭りは、家族で行ったことがあるよ。 ・ボロ市もくらやみ祭りと同じように受け継ぐために工夫や努力をしていると思うな。聞いてみたい。 ○ボロ市について、関係者の方にインタビューをする。 ・受け継ぐために、開催の方法は、委員会を作り話し合われている。 ・400年の中で形を変えながら受け継がれている。 ・受けついでいく若い人が減っている。 ・コロナウィルスなどの対応で、参加する祭りが開催できなくなっている。 ○文化財や年中行事を受けつぐために、自分たちができることを話し合い、文章にまとめる。 ・文化財や年中行事に関心をもつことが大切だと思う。どのようなものがあるのかを知らないとい何も関わるできない。 ・自分たちの地域の祭りにも、参加してみようと思う。 ・将来、自分が住む地域には、どのようなものが受けつがれているのかを調べたり、願いを考えたりして、地域でできることをやってみたい。 ・地域に、大切に守られているお祭りがあるということ誇りに思う。これから伝統的な行事だけでなく、文化財のことも調べて、大切に守り受け継ぐ一人になりたいな。</p>	<p>◎ボロ市 (図) □自分たちの身近なお祭りを取り上げることで、「自分たちにできること」を自分と社会とのつながりを意識できるようにする。 ◎学びのあしあと □学びのあしあとを見ながら、くらやみ祭りの学習を思い出し、ボロ市も同様に受け継いでいるのかをインタビューできるようにする。 □考えることが難しい場合は、ロイロノートで友達の考えを参考にしたり、それぞれの課題から「自分たちにできること」を考えたりさせる。 ★【思判表②】ノートなどの記述から「文化財や年中行事を継承していくために自分たちにできることを選択・判断して適切に表現しているか。」を評価する。 ★【態度②】ノートや発言内容から「文化財や年中行事を継承していくために自分たちにできることを考えようとしているか。」を評価する。 ➡『文章にまとめることが難しい児童』には、地域のお祭りの具体的な様子を思い浮かべ、(子供神輿やお囃子などへの参加など、)自分ができそうなことを考えられるようにする。</p>

7 本時の学習（3/10 時間目）（本時）

4年1組 世田谷区立烏山北小学校 主任教諭 長岡 恭平

(1) 本時のねらい

くらやみ祭について、問いを見だし、学習問題を考える。

(2) 本時の展開

	○主な学習活動 ・児童の予想される反応	◎資料 【評価】 □教師の手立て（番号は研究内容）
つかむ	○前時の疑問から問いをつかむ。 ・くらやみ祭には、80万人以上の人に参加していた。 ・万灯大会、おはやし、こまくらべなど、7日間かけて行われる。 ・くらやみ祭がはじまったころは、どのようなことをやっていたのかな。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">くらやみ祭がはじまったころは、どのようなことをしていたのだろう。</div>	◎資料 【評価】 □教師の手立て（番号は研究内容）  ◎くらやみ祭の写真
つぎへ	○1000年という時間の長さを、テープ図を基に捉える。 ・1000年以上前というのは、すごく昔だ。 ○くらやみ祭の起こりや成り立ちを、簡易年表を基に調べる。 ・六所宮という神社の祭りが始まりだ。 ・国の安全と作物が豊かに実ることをお祈りする祭りだった。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">1000年前から今まで、どのようなことがあったのだろう。</div>	◎くらやみ祭の歴史の長さを表したテープ図 □くらやみ祭が受けつがれてきた時間の長さに着目させる。 ◎くらやみ祭の起源から現在に至るまでの簡易年表 □旧国名と位置を確認することで、空間的なつながりを捉えさせる。
	○現在に至るまでの簡単な歴史を、簡易年表を基に調べる。 ・神社だけでは、祭りを続けられなくなった。 ・けんかやきけんなことで、みこしが中止になった。 ○お囃子を演奏した体験を振り返る。 ・お囃子の演奏をするのはとても難しかったけど、どうやって教えているのかな。 ・あんなにすごい祭りを1000年以上ずっと続けているのはすごい。	□音楽科で、事前にお囃子を体験してもらい、演奏の難しさを体験しておく。
つくる	○疑問を出し合い、学習問題をどのように設定するか話し合う。 ・どうやって1000年以上続けたのかな。 ・ピンチになったときにどうやって乗り越えてきたのかな。 ・お囃子など難しいものをどうやって伝えてきたのかな。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">学習問題：くらやみ祭りは、どのように1000年以上続けられているのだろう。</div>	□1000年という時間の長さ、長い歴史の中にはピンチもあったという事実、お囃子を演奏する難しさかの3つを基に、疑問を出させる。
	○次時の見通しをもつ。 ・次回は学習計画を作る時間だ。	☆【思判表①】ノートなどの記述から、「くらやみ祭が、1000年以上前から受け継がれていることに着目して問いを見出しているか。」を評価する。 ➡『問いを見出せない児童』には、主語を「くらやみ祭は」と設定し、疑問の対象がお囃子や、大変な時期の乗り越え方のみ限定されないようにする。

<板書> ◎どのように始まったのだろう。 ◎1000年前から今までどんなことがあったのだろう。

約1000年前      約400年前      約130年前      61年前      今

- 約1000年前: 六所宮⇒各地域から来る。 国の安全と豊作⇒むさしの国
- 約400年前: 祭りが大きくなる
- 約130年前: 神社だけでは続けられない
- 61年前: みこし中止
- 今: おはよしの写真

学習問題：くらやみ祭りは、どのように1000年以上続けられているのだろう。

・どうやって1000年以上続けたのかな。  
・ピンチをどのように乗り越えたのかな。  
・おはやしなどの難しいものをどうやって伝えているのかな。